



45日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。一月ぶりに会う子どもたちの一回り大きくなった姿に、たくましさを感じました。

さて、9月から12月には、校外学習やオータムフェスティバルなど、様々な学校行事もあり、一年の中でも最も充実した時期を迎えます。一つ一つ、目標をもって取り組ませていきたいと思います。

また、9月1日は防災の日でしたが、今年度は7月28日（火）16:27頃に熊本県で大規模な地震が発生しました。震度7による揺れや被害状況の大きさ、人命の尊さ、防災に対する備え、訓練の重要性などを改めて実感いたしました。本校におきましても、震災に対する意識を高め、震災時の対応を改めて確認していきたいと思います。

前期後半がスタートし、暑さが続きます。熱中症に気をつけて、また、生活のリズムを整えながら、学校生活を送ることができるよう支援していきます。

今後も、「人を大切にし、ともに成長しよう」を合い言葉に、今後も全職員で誠実に取り組んでまいります。ご協力をお願いいたします。

児童・生徒会活動交流会(笑顔サミット)



8月6日（木）に、笑顔サミットが、しあわせプラザと那珂湊コミュニティセンターで開催されました。このサミットは、ひたちなか市の小・中・義務教育学校・中等教育学校の代表児童・生徒が、一堂に会して、テーマに基づいた話し合いをします。今年のテーマは、「学校をよくするために自分たちにできること～児童生徒が楽しい学校づくり～」です。本校は6年生の児童2名、5年生の児童が1名参加しました。

全体でのシンポジウムの後に、分科会が行われました。分科会では、「児童生徒が楽しい学校とはどんな学校だろうか」「学校をよりよくするために自分たちにできること」について、小学校11グループに分かれ、熱心に他の学校の児童と意見交流会を行いました。「周りの人の意見を大切にする」「思いやり、仲良くする」「コミュニケーション」「安心できる居場所」「いじめをなくす」などがあがり、大変充実した交流会となりました。

全国学力・学習状況調査から

○ 6年生を対象に実施しました令和8年度全国学力学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

【本校の平均正答率と全国平均正答率との差】

国語…下回っている 算数…やや下回っている

国語では、「記述力や情報の整理」の分野において

- ・資料から必要な情報を抜き出し、条件に合わせて自分の考えを論理的に記述することや、文章の構成を正しく捉えることに課題が見られました。

→接続語の意識化や要約練習を継続して取り入れていきます。

算数では、「データの活用や数量の関係」の分野において

- ・二次元の表から正確に数値を読み取ることや、割合における「もとにする量」の概念の把握、単位量あたりの意味を言語化することに難しさが見られました。

→数直線図を用いて数量の関係を可視化したり、計算のプロセスや意味を言葉で説明したりする活動を重視していきます。